

平成30年度教頭専門部会県外視察研修会 報告書

1. 研修目的

- (1) キリスト教精神に基づき、自分と異なる言葉や文化を持つ世界中の人たちと心を通わせる国際教育を行っている桜美林中学・高校を視察する。
- (2) 伝統の女子高に新たに共学部を加え、小・中学校を併せ持つ星野高校を視察し、自校の生徒募集の参考にする。

2. 期 日 平成30年5月24日(木)～25日(金)

3. 参加者 18名

4. 視察・訪問校

- ① 5月24日 桜美林中学・高等学校 大越 孝 校長
東京都町田市常盤町3758 電話 042-797-2667
- ② 5月25日 星野高等学校〔女子部〕〔共学部〕 星野 誠 校長
埼玉県川越市石原町2-71-11 電話 049-222-4489

5. 研修行程

- 5月24日(木) 浜松・アクトタワー南側バス乗り場(8:20出発) → 静岡・静岡IC東名バス停(9:40出発)
→ 駿河湾SA(昼食)(10:40～11:30) → 桜美林中学・高等学校(13:00～15:30)
→ ホテル「マロウドイン八王子」(シングル・朝食付)、
懇親会会場「京王プラザホテル八王子」ディナーバイキング(17:00～19:00)
- 5月25日(金) ホテル発(8:50) → 星野高等学校(10:00～12:00)
→ 昼食、川越(小江戸)散策(12:10～14:10) → 駿河湾SA下り(16:10頃) → 静岡IC東名バス停(17:25)
→ 浜松・アクトタワー南側バス乗り場(18:40着)

桜美林中学高等学校 視察研修報告 (記載責任者 加藤学園暁秀中学校・高等学校 教頭 岩城 直己)

訪問日時：5月24日 13:00～15:10

高校教頭 首藤元彰先生が対応していただいた。

沿革： 設立者 清水安三先生(宣教師として中国に渡る)

1921～45年の北京の崇貞学園が桜美林の前身

崇貞学園の校舎は戦後中国に没収されるも後を受け継いだ現地の学校と交流するなど現在も良好な関係が続いている。

戦前、創立者が米国のoberlin大学に留学していたことからその校名をいただき

戦後、町田に桜美林学園として開校したものが現在に至っている。

現在、幼稚園、中学校、高等学校、大学が同一キャンパス内にある。

大学は一部移転の計画がある。(新大久保)

教育： ミッション系の学園であり、生徒たちは落ち着いている。

「学而事人」：人に役立つために学問をするという教を校訓にしている。

教育理念は、共生(心の教育)と異文化理解(国際理解を含む)

規模： 男女共学で、生徒数は中学は465人、高校1154人(高入生は746人)

大学もキャンパス内にあり、敷地は広大、施設も充実している。

特色： 1. 中学からの内進生、高校からの高入生は別クラス。英数のみ習熟度授業。

クラブ活動でコース別生徒の交流はある。

2. 完全週6日制であり、教員は週に1日休養日を設けている。

3. 6:30完全下校(野球部は場所が別で別時間)

教員が帰る時刻を記入することになっている。(労務管理)

4. 大学とあわせて自前のバスを 14 台持っている。(施設費で運営)
5. 学校設定科目としてコリア語、中国語の講座がある。
6. 毎朝 5 分の礼拝や時期に合った礼拝を行い。聖書を学ぶ授業がある。
7. 高 3 において、午後に同キャンパス内大学講義に出席でき、単位としても認められる。
8. 将来、国際コースを設けることを思案中。
9. ユネスコスクールとして認可を受けている。
10. 中 3 でのオーストラリア研修旅行を含め、農業などの体験研修、他にも短期留学も充実している。

- 進路：
1. 桜美林大学への進学率は 5～8 パーセント程度
多くの生徒は桜美林大学を併願推薦で押さえに使う。
 2. 併願推薦は 3. 3 以上 (全体の 7 割以上の生徒が該当) 入学金 10 万のみ
 3. 長期留学 (1 年以上) をする生徒は推薦に不向き。指定校は辞退してもらうよう周知してもらい、一般入試で進学してもらう。

- その他
1. 体育館につけた 6 基のエアコンが非常に役立ち、熱中症にならないとのこと。
 2. ロッカーは高校はカードキー、通学はナンバーキーにしてあり、盗難がない。
 3. 都立の無償化は痛かったが、私立の無償化は殆ど影響なしとのこと。
(私立の保護者の収入のレベルが高いのではないか)

星野学園中学校・高等学校 視察報告 (記載責任者 静岡大成中学校・高等学校 教頭 山田 隆司)

視察校 星野高等学校 埼玉県川越市石原町 2-71-11

訪問日・時間 平成 30 年 5 月 25 日 (金) 10:00~12:30

1. 星野学園について

(1) 建学の精神 『教養教育により良き市民を育成すること』

創立者 星野りち先生

貧富の違いに関係なく、それぞれの立場や能力に適した高い教育の機会を与え、これからの社会を担う人材を育成することが創立者の教育理念。

(2) 沿革 創立 121 年

明治 30 年 4 月 星野塾 設置認可

昭和 39 年 3 月 星野女子高等学校認可

昭和 59 年 1 月 川越東高等学校 (男子校) 認可

平成 12 年 3 月 星野学園中学校 (共学) 認可

平成 15 年 4 月 星野女子高等学校は星野高等学校に名称変更し【共学部】と【女子部】に分かれる

平成 19 年 3 月 星野学園小学校認可

(3) 構成

[高校] 共学部 437 人 10 クラス 公立中学から半数

女子部	390人	12クラス	〃
男子部	470人		
[中学校] 共学	454人	1年4クラス、2年5クラス、3年4クラス	
		都内は1割、川越市から23%、欠席が少なく30%が皆勤	
[小学校] 共学	388人	各学年2クラス	4割が川越市
[幼稚園] 共学			

(4) 入学者に求める力 (アドミッションポリシー)

- 欠席の少ない健康で真面目な人間力
- 語学・数的思考力などの基礎学力
- 学習や部活動を継続できる力

(5) 教育方針・目標を支える3つの柱 (カリキュラムポリシー)

- 習熟度別学習指導
- 国際人教育
- 道徳・情操教育

(6) 育成する人間像 (ディプロマ・ポリシー)

- 知・徳・体・礼のバランスが取れた品格のある人間
- 失敗を恐れず積極的に、継続して努力する人間
- 正義と真理を探究し、社会に貢献する人間

(7) 星野高校の教育

①コース、単位数

共学部	S類特進選抜コース	最難関国立大学進学
	α選抜コース	難関国立大学・難関私立大学進学
	βコース	国公立大学、有名私立大学進学
	いずれのコースも、2年次から国公立文系、私立文系、理系に分かれる	
女子部	Ⅲ類特進選抜コース	最難関国立大学・最難関私立大学・医学部進学
	Ⅱ類選抜コース	国公立大学・難関私立大学進学
	I類コース	四年制大学進学
	いずれのコースも、2年次から文系、英語系、理系に分かれる	

週6日制、34単位 (総合・LHR含む) 土曜日午後は、難関大学希望者対象講習

②大学進学指導

- 合理的で多彩なカリキュラム
- 難関大学から基礎力養成まで充実した講習
 - 夏期、冬期、春期、土曜日の4期にわたる講習
- 短時間を利用したホームルームテスト
- 全国模試、スタディサポート、GTEC
- 大学出張講義、進路講演会

○大学入試改革のための面接、討論、小論文指導を強化

③部活動（昨年度の実績）

○ソフトボール、陸上、ソフトテニス、新体操、水泳がインターハイ出場

○書道、囲碁、百人一首、マーチング、音楽、放送が全国レベル大会出場

2. 小学校・中学校・高校（共学）のある石原キャンパスの主な施設

○全ての校舎（小中高）が廊下でつながっている。

○星野記念講堂（ハーモニーホール） 収容人数 1500 人

世界的なアーティストを招いての芸術鑑賞会を実施。ピアノ「スタインウェイ」（1 台 1500 万円）

○星野ドーム 人工芝、全生徒収容可能 災害時の緊急避難場所

屋内温水プール 床上下可動式（10cm～1.5m）

○グラウンド 2 面、体育館 2 棟、弓道場、屋内練習場、テニスコート、合宿所（100 人宿泊可）等

3. その他

生徒完全下校 19：30 教員も同時刻で退勤

以上